

現在の岡山偕行社



昨年末にNHKの連続テレビ小説「カムカム・エヴリバディ」の岡山編を観ていると、岡山市内に旧陸軍の偕行社が現存していることを初めて知りました。

1月25日、旧岡山偕行社を訪れ、中に入って室内を見学するとともに、外観を写真におさめました。

「施設のご案内」のパンフレットには次のように書かれています。

「岡山偕行社は、明治43年（1910）10月12日、陸軍将校の社交場『第十七師団岡山偕行社』として誕生しました。

戦後、進駐軍に接收されたあと、昭和25年（1950）から昭和42年まで岡山労働基準局の庁舎として使用されました。昭和43年に元の位置から約100m西に移築されて合宿場となりましたが、老朽化などでその後約10年間閉鎖されていました。

再び賑わいが戻ったのは平成2年（1990）。保存・再生の改修により、園内の憩いの場「岡山県総合グラウンドクラブ」として復活しました。そして、平成15年（2003）、現在の体育館建設のため、さらに西へ100m移転され、現在に至っております。

県下では数少ない明治後期を代表する近代洋風建築の一つであり、平成24年8月1日に国の登録有形文化財に登録されました。

施設の現存している場所は、岡山市北区いずみ町にある岡山総合グラウンド内の「ジップアリーナ岡山」の西隣です。以上、紹介させていただきました。